

事業審査シート(案)

補助事業者名		要望No.	1
補助事業名	〇〇の調査研究	事業No.	1-1
事業項目名	××の分析		

区分	所見(それぞれ200字程度でコメントをお願いします。)		※審査基準
主査氏名 <small>主査は、「副査所見」確認後記名をお願いします</small>	(特筆すべきストロングポイント) ※無い場合は「無し」と記入	(仮に「条件付き採択」の場合、提案者に課すべき事項) ※無い場合は「無し」と記入	各項目について、 5点満点 で審査してください。その際、できるだけ 配点のメリハリ をつけてください。 5点: 全体的に優れている 4点: 優れている 3点: 普通である 2点: 一部劣る 1点: 全体的に劣っている
副査氏名 <small>所見記入時に記名をお願いします</small>	(主査の審査全般に関するご意見) ※無い場合は「無し」と記入	(左記の副査コメントに対する主査としての対応) ※無い場合は「無し」と記入	

【参考】
主査審査対象事業全体の配点分布をExcelシート上に表示しています。

審査項目	審査の主な視点	参照書類	委員判定
1 社会的課題の把握と解決策の妥当性	a [社会的課題の妥当性] ・事業背景にある社会的課題の現状認識と目指す姿が的確か。 (社会的課題解決による受益者とメリットが漠然としていないか。)	事前計画/自己評価書 「3. 補助事業実施の必要性(意義)」(1)補助事業が最終的に目指すこと 「4. 補助事業の事前計画」(1)受益者(ニーズ)	
	b [本事業の必要性・有効性] ・本事業が上記社会的課題の解決へ直接的・本質的に貢献するものか。 (補助が不要な(自前で実施すべき)事業内容が含まれていないか。)	事前計画/自己評価書 「2. 要望事業」補助金を必要とする理由 「3. 補助事業実施の必要性(意義)」(1)補助事業が最終的に目指すこと (2)補助事業の直接的な目的 「4. 補助事業の事前計画」(2)事業内容	
	c [実施体制の実効性・遂行能力] ・本事業を実施する上で、実施体制(委託先・委員を含む)の専門性・スキルが十分か。 (実施体制が未確定・曖昧な部分が残されていないか。)	事前計画/自己評価書 「2. 要望事業」委託事業の有無 委託調査の有無 委託想定先 「4. 補助事業の事前計画」(2)事業内容 実施体制	
2 事業目標の妥当性	d [事業結果(=アウトプット)の妥当性] ・目標値が本事業の成否判定基準(難易度、実現性)として適切か。 (目標値が高すぎ(低すぎ)ないか。また事業内容との関係性が薄くないか。)	事前計画/自己評価書 「4. 補助事業の事前計画」(3)達成目標 事業の実施結果	
	e [事業予算の妥当性] ・事業内容を遂行するにあたり必要十分な予算となっているか。 (使途が曖昧だったり、過大・不要と思われる費目が含まれていないか。)	別紙 事業経費比較表	
	f [事業計画の妥当性] ・実施スケジュールは妥当かつ精緻に設計されているか。 (事業工程が漠としていたり、実施順序に論理的な矛盾がないか。)	別紙 事業の実施予定表	
3 事業効果の妥当性	g [事業の成果・波及(=アウトカム)の妥当性] ・目標値が本事業の波及効果(受益者、貢献度)として適切か。 (波及効果が広すぎ・長期すぎないか。また事業内容との関係性が薄くないか。)	事前計画/自己評価書 「4. 補助事業の事前計画」(3)達成目標 事業の成果・波及	
4 事業の新規性 継続性	h [事業の差別化] ・事業のねらいや実施方法等に、ユニークな視点が盛り込まれているか。 (類似の取組みが別途あるいは過去に行われていないか。)	事前計画/自己評価書 「4. 補助事業の事前計画」(2)事業内容 事業の新規性・継続の必要性	
	i [事業の継続必要性] ・事業の継続の必要性が妥当であるか。 (過去の補助実績からみて、時機を逸していたり、遂行能力に疑念がないか。)	事前計画/自己評価書 「1. 申請事業者」過去のJKA補助実績 「4. 補助事業の事前計画」(2)事業内容 事業の新規性・継続の必要性	
5 事業の発展性	j [事業発展のプロセス] ・事業の展開プロセスが論理的で説得力があるか。 (事業の発展が他者まかせ(補助事業者の関与が薄い)となっていないか。)	事前計画/自己評価書 「4. 補助事業の事前計画」(2)事業内容 事業の発展性	
合計			

5点 4点 3点 2点 1点

※参考欄に配点分布の目安が表示されます。本欄を委員各位の配点分布の参考にしてください。